

選定作品一覧【南城市こどものまち宣言 なんじいバリエーション】

【選定する際に特に大切にしたこと】

- ・大人では思いつかないであろう子どもの視点を重視した。
- ・ユーモア含め、子どもらしい発想を汲み取った。
- ・新たななんじいバリエーションを通して、こどものまち宣言に対する考えを深め、宣言の意味が広がることを意識した。

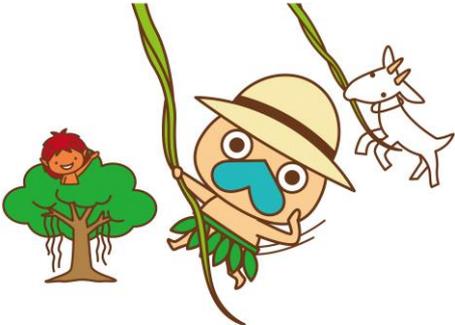
宣言1 なんでも前向きに取り組むまち

原案作者	作 品	選定理由
大里中学校2年 島田 真聡		宣言の“前向きに”を、あえて後ろ姿で表現しているところが意表をついて面白く、評価された。後ろ姿ではあるが、太陽に向かって立っていることで“前向きに”が表現されているほか、地球の上に立つことで壮大な前向きさを感じ取れるデザインとなっている。

宣言2 情にあつく、支え合い（愛）、助け合い（愛）のあるまち

原案作者	作 品	選定理由
大里中学校2年 仲程 優愛		抱えきれないほどの大きささまざまなハートが、宣言の“愛”を表現している。特に目線がまっすぐでないところが面白いと評価された。目線の先には誰かがいて一人ではないというイメージが膨らみ、想像すればするほど“愛”を感じる温かみのあるデザインとなっている。

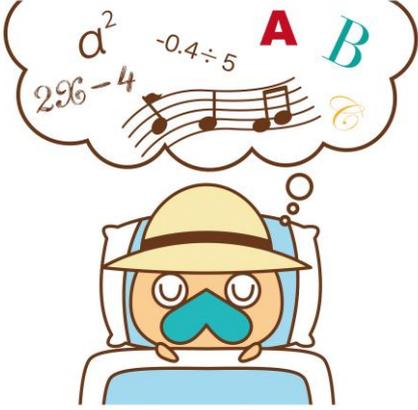
宣言3 自然を大切にし、共に生きるまち

原案作者	作 品	選定理由
大里中学校3年 仲里 加奈		宣言の“自然を大切にし”が、守り育てる視点ではなく、自然の中で共に生きるイメージとなっているところが南城市の子どもならではの視点で評価された。南城市に住む子供たちにとっての自然は日常であり常に側に感じているものであることが想像できるデザインとなっている。

宣言4 子どもが自由に夢や希望をもつまち

原案作者	作 品	選定理由
玉城中学校3年 糸数 稀沙来		枝が伸びていくことが、夢や希望が育っていくイメージと重なると評価された。枝の周りにあるオーブや星がキラキラを連想させ宣言の“夢や希望”のイメージに繋がるほか、目、表情、大きなハートはそのイメージをより際立たせるデザインとなっている。

宣言5 のびのびと学び可能性を広げるまち

原案作者	作 品	選定理由
<p>玉城中学校3年 糸数 稀沙来</p>		<p>宣言の“のびのびと学び”や“可能性を広げる”をあえて寝ている姿で表現しているところが意表をついて面白く、評価された。夢の中では現実世界のような制限がないため、無限大にのびのびと可能性を広げられることが連想でき、より大きな可能性を感じさせる深みのあるデザインとなっている。</p>

宣言6 まわりに相談できる環境をつくるまち

原案作者	作 品	選定理由
<p>玉城中学校2年 糸数 玲奈</p>		<p>宣言の“まわりに相談できる”を自分から相談する視点ではなく、多くの人に関わっていくことで環境をつくりあげていく視点が素晴らしいと評価された。また、相談というところが一見ハードルが高そうなイメージがあるが、ヤギに相談するというところでハードルが下がり、ユーモアもある可愛いデザインとなっている。</p>

宣言7 挑戦はあなたをかえる

原案作者	作 品	選定理由
<p>知念中学校2年 親川 翔一斗</p>		<p>宣言の“挑戦はあなたをかえる”のとおり、様々なことに挑戦し、それ（波）を乗り越えて、なりたい自分になっていくというイメージが掻き立てられる点が評価された。深みと広がりある世界への旅立ちを意味するような、既定の枠を超えた「イケメンなんじい」のデザインは、“挑戦はあなたをかえる”を見事に表現し、意表を突いたデザインとなっている。</p> <p>※「なんじいの基本デザインおよびデザイン使用上の遵守事項」に基づき、なんじいの体の比率変更はできないため、なんじいが空想している設定となっている。</p>